

研究協力をお願い

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

病理解剖臓器における各種転写因子発現の病理学的検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2018年4月から2022年3月までに、昭和大学藤が丘病院臨床病理診断科で診断された病理解剖患者さん 研究実施計画書記載済み

2. 研究目的・方法

医療現場では原発不明癌が稀にあり治療選択に難渋することがありますが各種癌に特異的な転写因子の発現様式を精査することで原発部位特定の手がかりとすることが可能です。今回の研究では新しい臓器特異的転写因子開発が目的でその発現意義を追求します。転写因子は極めて多く存在していることが知られていますが、発現様式は極めて多岐におよび大多数の発現はほとんどわかっていません。病理解剖例臓器を使って、このことを調べることで、癌の診断に役に立つ新しいことがわかる可能性があります。

研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究機関（昭和大学藤が丘病院）の長の研究実施許可を得てから、2025年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

病理標本（病理組織ガラス標本、病理組織ホルマリン固定パラフィン包埋ブロック等）

病理診断に付随する資料（病理検査申込書、病理検査報告書等）

（患者さんから新たな検体の採取をお願いすることはありません）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘病院 臨床病理診断科

氏名：楯 玄秀

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30

電話番号：045-971-1151 (院内携帯 5354)

研究責任者：楯 玄秀